



学校だより

志高く

正しい判断力とたくましい実践力を
もった熊谷東中生を育む学校

発行 熊谷市立熊谷東中学校

電話 048(521)0066

FAX 048(521)8429

令和7年10月6日

第7号

あなたがいるから頑張れる

校長 吉田 順一

猛暑の夏が過ぎ去り秋の訪れを感じる日が増えてきました。学校では、体育祭に向けて汗を流しながら練習する姿や東雲祭で発表する歌声が校舎を響かせています。

さて、9月末、新人戦の市内予選・地区予選が行われました。熊谷東中学校だけでは部員数が足りず、合同チームで参加した部や、人数ぎりぎりでの出場し、途中から欠員のままやむなく試合に臨んだりした部もありましたが、**どの部においても、これまで努力し身に付けてきた力をチームのために発揮し、仲間とともに本気で勝利を目指しました。**お忙しい中、応援にかけつけてくださった皆様、どうもありがとうございました。校長として、**保護者の方々と一緒に生徒を応援できることがうれしく、たくさんの会場を回らせていただきました。**そんな中、閉会式で卓球の専門委員長である田口教諭が入賞した生徒に対して話していたことが心に残りましたので紹介します。

(田口教諭が、卓球の専門委員長として閉会式で話した言葉)

入賞した皆さんおめでとうございます。皆さんが、今、賞状を手にすることができたのは、一番は皆さんのこれまでの努力の成果であると思います。しかし、**その努力を積み重ねることができた裏側には、皆さんを指導してくださった顧問の先生や外部コーチの先生がいること、お弁当の準備をはじめ、苦しい時にも支えてくださった保護者の方がいることを忘れないでください。**

そして、**勝者の裏側には、敗者がいることも忘れてはいけません。**戦った相手も皆さんと同じように、**精一杯努力してきました。その相手がいたからこそ、自分の力を伸ばすことができたのです。**県大会に出場する皆さんには、熊谷市の大会で一緒に戦ってきた選手の思いを胸に熊谷市の代表として、熊谷の名前を県下に響かせてきて下さい。ここにいる全員が応援しています。

部活動の大会やコンクールは、生徒にとって、きらきら輝く特別なステージです。がんばるぞという気持ち、不安と緊張、歓喜と無念さ、努力の末にやりきった達成感。選手の皆さんには、さまざまな感情が押し寄せてきたことでしょう。**悔し涙は「もっとうまくなりたい」という気持ちの表れであり、「みんながいたから頑張れた」という気持ちは、皆さんのこれからの人生にとって糧となることでしょう。**そして、田口教諭の話から**「みんな」には、仲間・先生・保護者はもちろん、対戦相手(ライバル)も含まれる**ことや、常に感謝の気持ちを忘れないことを教えられました。

「感謝」の「感」は、「感じる」。何を感じるのでしょうか？それは、「ありがとう」を「感じる」ことです。「感謝」の「謝」は「言(ごんべん)」に「射る」。「発射」の「射(しゃ)」と書きます。つまり、「言葉を発する」ことです。ということは、「感謝」とは、「ありがとう」を感じて、それを心から言葉に表せることだと言えます。「ありがとう」は不思議な言葉です。受けとった人は、誰もが幸せになります。

今月は、**体育祭(10月8日)**や**東雲祭(10月24日)**が行われます。体育委員や東雲祭実行委員が、皆さんの人生にとって忘れられない最高の思い出となるよう準備してくれています。そんな仲間への「ありがとう」がたくさん聞こえる学校行事を生徒全員で協力して創り上げましょう。そして、参観に来てくださる保護者の方や地域の方々へ、熊谷東中の伝統を受け継いでいる生徒(主人公)として、本気の演技や歌声を披露していきましょう。

熊谷東中のバトンを受け継いだ新人戦 10の競技で県大会出場を決めました。



新人戦栄光の記録

【団体の部】

女子バスケットボール部	優勝	(県大へ)
柔道部 団体戦	優勝	(県大へ)
男子バレー部	優勝	(県大へ)
ソフトボール部	優勝	(県大へ)
男子卓球部 団体戦	優勝	(県大へ)
女子卓球部 団体戦	準優勝	(県大へ)
ラグビー部	準優勝	(県大へ)
女子バレー部	準優勝	(代決勝利県大へ)
男子ソフトテニス部	第3位	

【個人の部】

卓球男子ダブルス	優勝	(県大へ)
男子硬式テニス	優勝	(県大へ)
柔道 (-50kg) 個人	優勝	(県大へ)
柔道 (-55kg) 個人	優勝	(県大へ)
柔道 (-66kg) 個人	優勝	(県大へ)
柔道 (-81kg) 個人	優勝	(県大へ)
柔道 (-73kg) 個人	第2位	(県大へ)
男子テニス個人戦	第3位	(県大へ)
卓球女子ダブルス	第2位	(県大へ)
卓球女子ダブルス	第3位	(県大へ)
女子硬式テニス個人	第2位・第3位	

地域の方から熊谷東中学校の生徒へ感謝の電話がありました。

10月2日、地域の方から一本の電話が入りました。「今朝、新聞を取りに出たら雨ですべて転んでしまい動けなくなっていました。すると、家の前を通りかかった熊谷東中学校3年生の二人の女子生徒が、倒れている私を見つけ「大丈夫ですか」と私のそばまで来てくれました。その二人は、動けない私を二人で抱えて家まで運んで下さり、近所の家まで助けを呼びにいてくださいました。私は、その後、近所の方が救急車を呼んでくれて無事入院することができました。二人が助けてくれたおかげです。登校時間もある中で、丁寧に対応してくださった生徒に本当に感謝しています。ありがとうございます。」とのことでした。

熊谷東中学校では、「正しい判断力とたくましい実践力をもった生徒を育成する学校」を目指して取り組んでいますが、まさにこの二人の生徒は、その目標を優しい心で体現してくれました。

校長としても感謝しています。ありがとう。